

9月末まで!

「学校給食費の無料化を求める署名」を

もう一回ひろげてください!

今年9月末まで、10万人を目標に取り組んでいる「学校給食費の無料化を求める署名」は、現在1万3000を超えて集まっています。この間の私たちの運動に呼応して、この4月から、これまで一部補助だった古殿町が、こども園も含め無料化が実現。平田村、鮫川村は半額補助に拡充され、新たに新地町でも一部補助が実施されています。また、県内13市のうち、相馬氏の全額無料、喜多方市の半額補助に加え、新たに田村市、白河市で一部補助が実施され、県内59市町村中半数以上の32市町村で無料化や一部補助が広がっています。

福島県に向けた署名をさらに積み上げて、県内全市町村での「学校給食費無料化」を実現させ、県が掲げる「日本一子育てしやすい福島県」を実現させましょう!

(新婦人ニュースより)

8月27日に民商婦人部の役員会へ、新婦人県本部の村上さんが来所されました。阿部部長より民商で集めた、「学校給食費署名」160人が渡され、又、阿部部長から民商婦人部が進めている、56条署名への説明とお願いもありました。

「住み良い社会を目指して頑張りましょう」と健闘を約束しました。

9月の予定

9月9日(月)~9月11日(水) 集団検診

9月11日(水)9月25日(水) 福島民商 なんでも相談会

民商事務所にて、午後1時30分~3時30分まで

9月26日(木) 業者婦人総決起大会

9月27日(金) 民商理事会

2019年10月からの

消費税10%中止を

政府は予定通り、2019年10月から消費税を10%に引き上げようとしています。

実質賃金は伸びず、家計消費は低迷し、深刻な消費不況が続いています。格差と貧困は拡大する一方です。

このまま税率引き上げが実施されれば、地域経済をさらに疲弊させ、中小企業や小規模事業者の営業を脅かし、雇用不安を招くなど国民生活への影響は計り知れません。「軽減」と宣伝されている複数税率による混乱も心配されています。

景気悪化を招き、低所得者ほど負担が重いのが消費税の特徴です。「今、消費税を上げる時なのか」といった声が大きく広がっています。

こうした趣旨から、再度の署名をお願いします。
(婦人部の署名も合わせて9月13日署名回収とします)

「集団検診」のお知らせ

共済会員の皆さんへ

共済会の集団検診にご参加ありがとうございます。今年には下記の要領で実施します。

わたり病院健診センターで検診する人は下記によります。

健診日 9月9日(月) 10日(火) 11日(水)

健診先 わたり病院健診センター

福島民商

第816号

2019年

8月28日

F T
A E
X L

0 0

2 2

4 4

| |

5 5

5 5

3 3

| |

7 7

2 2

6 2

8 2

一

発行者

福島民主商工会

全国商工
新聞付録
昭和26年
11月17日
第3種郵
便物認可